

空き家ローカライズによる人材育成と随時相談体制の構築（空き家ネットワークみえ）

課題	これまでの活動で、需要と供給、環境、経済、交通、産業全てが地域によって異なり、問題の内容、解決方法にも大きな違いがあることを強く認識。
目的	地域の特性と相談者のケースに合わせて空家対策を考えていくことが重要であり、これを空家ローカライズと称し、研修会を開催する。また、より高度で多様な対応が出来るよう相談員の育成をはかる。
取組内容	①空き家無料相談会の開催 ②各団体の相談員に向けた研修会を開催 ③ローカライズディスカッションの実施による専門知識の共有 ④空き家に関連するフォーラムの同時開催 ⑤相談会開催時に第5ブースとして資料掲示、解説相談を行う。
成果	①空き家無料相談会の開催 ②相談員向け研修会開催 ③空き家ローカライズディスカッションの実施 ④フォーラムの同時開催 ⑤第5ブースにてテーマを決め資料掲示、解説や相談を受付ける。

①空き家無料相談会の開催

桑名市、四日市市、鈴鹿市、津市、松阪市(電話相談)、志摩市

②相談員向け研修会開催

テーマ：第一部『空き家の利活用と現状』

第二部『空き家の取引事例』

講師：(公社)三重県宅地建物取引業協会 役員

③空き家ローカライズディスカッションの実施

構成団体から1名出席し、ディスカッション(報告会)を行なった。

④フォーラムの同時開催

テーマ：不動産鑑定の中から見た空き家問題

講師：三重県不動産鑑定士協会

⑤相談会開催時に第5ブースとして資料掲示、解説、相談を行なった。

